

NUBIC知的財産情報開示

開示日: 2003年12月15日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2003000002"/>	整理番号 <input type="text" value="10460"/>	担当者 <input type="text" value="片山 充子"/>
表題	統合失調症診断装置		
技術分野	<input type="text" value="機械・加工"/>	<input type="text" value="医療機器"/>	<input type="text"/>
適応製品	統合失調症診断装置		
目的	統合失調症は、成因的及び基本的障害が混在しており、現在行われている心理学的面接による診断では異種性の把握が困難であった。本発明は、統合失調症の臨床的・病理学的基本障害を反映する生理学・形態学的特徴及び分子遺伝学的基盤を有する指標を用い、統合失調症の75%を占める中核的統合失調症の客観的・自動的診断を目的とする。		
技術概要	被験者はゴーグル型の覗き口から眼前の液晶モニターに提示される図をみながら、指示に従って答える。非接触型のアイカメラを被験者に装着し、注視点を記録する。横S字型の標的図を提示し、一定の指示のもとに一定時間見させる。次に標的図と一部異なった図を提示し、標的図との異同を答えさせた後に念押しの質問をする。その際の注視点の動きをスコア化して反応的探索スコアとする。このスコアと他の一つの指標を用いた判別式を用いて統合失調症か否かの判別を行う。一定の指示以外はすべてボタン操作で行われ、検査の手順、注視点の測定、表示、判定(診断)はプログラムによって自動的に処理され、検査が終了した時点で注視点の各指標の値、S字型図形上の注視点の軌跡、統合失調症の可能性があるか否かの診断が示される。検査開始から診断まで10分以内におわる。被験者に与える負担は極めて少ない。		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。
(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を申し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【 申込み・問い合わせ先 】

日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本学会館

TEL: 03-5275-8139 FAX: 03-5275-8328 e-mail: nubic@adm.nihon-u.ac.jp